

各 位

株式会社 東北銀行

着地型観光ビジネスの取組み

株式会社東北銀行（取締役頭取 浅沼 新）では、アグリビジネス（農林漁業及び関連産業）支援の取組みを展開しております。

この度当行は、農林漁業者等の事業者が自らの業務を体験プログラムとして商品化し、販売していく標記ビジネスに着手するにあたり、株式会社ホワイト・ベアーファミリー、株式会社地域再発見、有限会社ウィンキューブインターナショナルと提携いたしましたので、お知らせいたします。

この取組みで、県内外から観光客を誘致し、農林漁業者等の売上向上に寄与することで地域経済の振興につなげてまいります。

記

1. 着地型観光ビジネスについて

着地型観光とは観光客が目的地で集合・解散するツアータイプを、旅行業界で「着地型」と呼んでいたことに由来しております。最近では、観光客が雑誌やインターネットで観光地や宿泊施設の情報を入手し、直接予約する消費行動が増え、“遊び”や“体験”といったソフトを商品化し販売する着地型観光ビジネスが、今後の主要な観光ビジネスとして着目されております。

当行では民間企業 3 社と提携し、農林漁業者等の体験型プログラムの商品化・販売の取組みについて支援を行っており、現在 15 事業者が着地型観光ビジネスへ参入予定となっております。

当行では今後も着地型観光ビジネスへの参入を促進し、アグリビジネス支援に積極的に取り組んでまいります。

【商品例】田植え・稲刈体験、ぶどう摘み取り、酒仕込み体験、木工芸品づくりなど

2. 提携先

株式会社ホワイト・ベアーファミリー（本社：大阪府）

株式会社地域再発見（本社：静岡県）

有限会社ウィンキューブインターナショナル（本社：東京都）



〒020-0023 盛岡市内丸 3 番 1 号

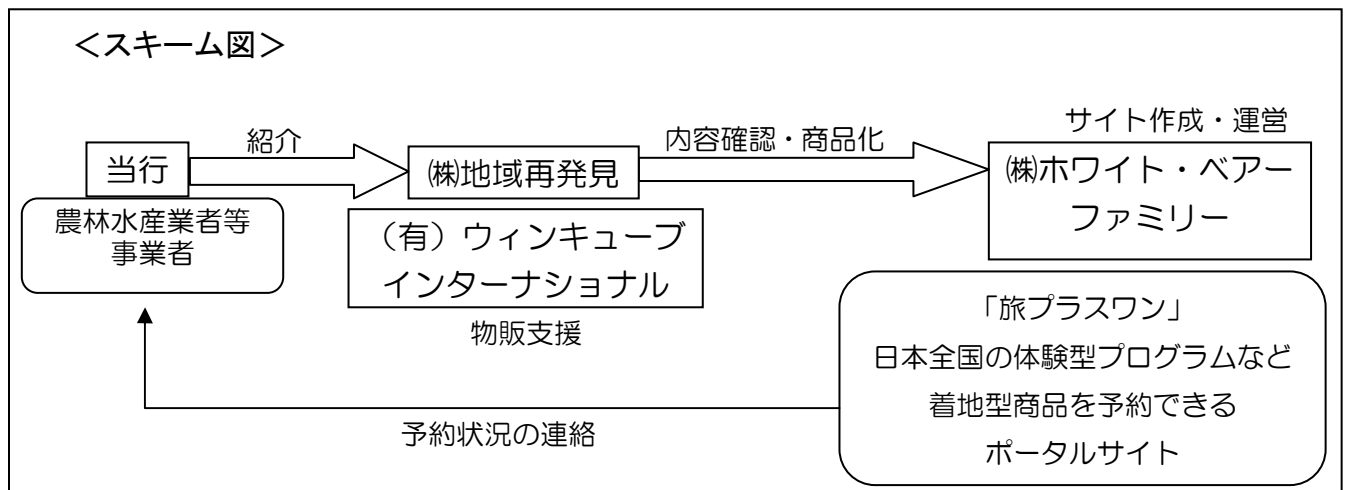
電話番号 019-651-6161

F A X 019-653-1291

ホームページ <http://www.tohoku-bank.co.jp>

3. グリーンツーリズムなどこれまでの観光ビジネスとの違い

- ①大手旅行業者が提供するパックツアーは、始発地から目的の観光地、終着地まで一連の旅程を商品としておりますが、本件は体験プログラムという一部分を商品とするものです。
- ②民間企業のみでの提携とすることで、従来の地域おこしを目的としたグリーンツーリズム方式より収益面で有効性があり、持続的な取組みとなります。
- ③旅行商品の提供にとどまらず、農林漁業者の生産物（米、ぶどう、日本酒、味噌など）を観光客にPRし、インターネット等による個人直販ならびにリピーターづくりに繋げていくことを支援いたします。



以上

【本件に関するお問い合わせ先】
東北銀行 アグリビジネス推進部
(担当：小野寺)
Tel. 019-651-6161 (内線：3321)